

Dell Vostro 5581

セットアップおよび仕様ガイド



メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 年 Dell Inc. またはその関連会社。All rights reserved. Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 コンピュータのセットアップ	5
2 技術仕様	7
システム情報	7
プロセッサ	7
メモリ	8
ストレージ	8
インテル Optane メモリ — オプション	8
システム基板のコネクタ	9
メディアカードリーダー	9
オーディオ	9
ビデオカード	10
カメラ	10
通信	11
ワイヤレス	11
ポートとコネクタ	11
ディスプレイ	12
キーボード	12
タッチパッド	13
オペレーティングシステム	13
バッテリー	13
電源アダプタ	14
寸法と重量	14
コンピュータ環境	15
セキュリティ	15
セキュリティソフトウェア	16
3 セットアップユーティリティ	17
BIOS の概要	17
一般オプション	18
システム設定	19
ビデオ画面オプション	21
セキュリティ	21
Secure Boot (安全起動)	23
インテルソフトウェアガードエクステンションのオプション	23
パフォーマンス	24
電力管理	24
POST 動作	26
Virtualization Support (仮想化サポート)	27
ワイヤレスオプション	27
メンテナンス	28

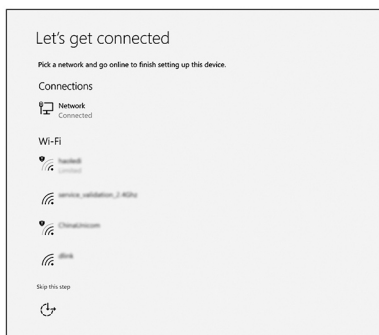
システムログ.....	28
SupportAssist システムの解決策.....	28
4 困ったときは.....	30
デルへのお問い合わせ.....	30

コンピュータのセットアップ

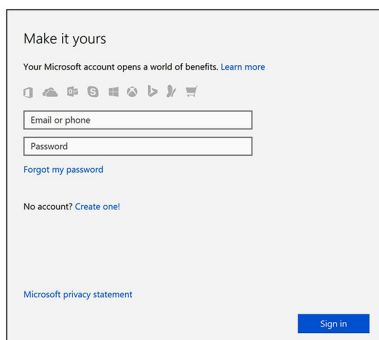
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



- 2 画面の手順に従って Windows セットアップを終了します。
 - a ネットワークに接続します。



- b Microsoft アカウントにサインイン、または新しいアカウントを作成します。



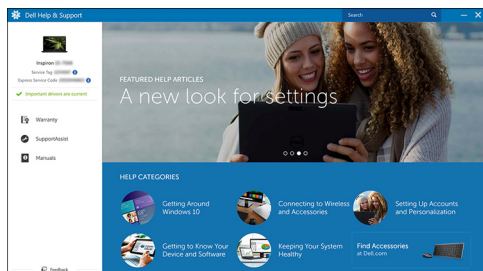
3 Dell アプリを見つけます。

表 1. Dell アプリを見つける



コンピュータを登録する

Dell ヘルプとサポート



SupportAssist — コンピュータを確認してアップデートする

技術仕様

- ① **メモ:** 提供されるものは地域により異なる場合があります。以下の仕様は、お客様のコンピューターの出荷に際して法律で定められた項目のみ記載しています。お使いのコンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティング システムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

システム情報

表 2. システム情報

特長	仕様
チップセット	統合プロセッサ
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	16 MB
PCIe バス	Gen3 まで
外付けバスの周波数	最大 8 GT/s

プロセッサー

- ① **メモ:** プロセッサー ナンバーは、性能の指標となるものではありません。プロセッサーの可用性は変更されることがあり、地域/国により異なる場合があります。

表 3. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス	専用グラフィックス カード
第 8 世代インテル Core7-8565U プロセッサー (8 MB キャッシュ、4 つのコア数/8 スレッド、1.8 GHz ~ 4.6 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620	Nvidia GeForce MX130 グラフィックス
第 8 世代インテル Core i5-8265U プロセッサー (6 MB キャッシュ、4 つのコア数/8 スレッド、1.6 GHz ~ 4.1 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620	Nvidia GeForce MX130 グラフィックス
第 4 世代インテル Core i3-8145U プロセッサー (4 MB キャッシュ、2 つのコア数/8 スレッド、2.1 GHz ~ 3.9 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620	Nvidia GeForce MX130 グラフィックス

メモリ

表 4. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	32 GB
スロット数	SoDIMM スロット (2)
スロットあたりでサポートされる最大メモリ	16 GB
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none">4 GB (1 x 4 GB)8 GB (2 x 4 GB)8 GB (1 x 8 GB)12 GB (1 x 4 GB + 1 x 8 GB)16 GB (2 x 8 GB)16 GB (1 x 16 GB)32 GB (2 x 16 GB)
タイプ	デュアルチャネル DDR4
速度	2666 Mhz

① **メモ:** 2666 MHz のメモリは、第 8 世代インテル Core プロセッサでは 2400 MHz で機能します。

ストレージ

表 5. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	容量
ハードディスクドライブ	SATA	SATA (5400 RPM)	最大 2 TB
PCIe NVMe ソリッド ステート ドライブ (クラス 35)	M.2 SSD 2230	PCIe Gen 3x2 NVMe、最大 32 Gbps	最大 512 GB
PCIe NVMe ソリッド ステート ドライブ (クラス 40)	M.2 SSD 2280	PCIe Gen 3x4 NVMe、最大 32 Gbps	512 GB

インテル Optane メモリ — オプション

インテル Optane メモリは、ストレージ アクセラレーターとしてのみ機能します。お使いのコンピューターに搭載されているメモリ (RAM) に取って代わるものでもそれを追加するものでもありません。

① **メモ:** インテル Optane メモリは、次の要件を満たすコンピューターでサポートされます。

- 第 7 世代以降のインテル Core i3/i5/i7 プロセッサ
- Windows 10 64 ビット バージョン以降 (Anniversary Update)
- インテル Rapid Storage Technology ドライバ バージョン 15.9.1.1018 以降

表 6. インテル Optane メモリの仕様

特長	仕様
インタフェース	PCIe3x2 NVMe 1.1
コネクタ	M.2 カード スロット (2230/2280)
サポートされている構成	<ul style="list-style-type: none"> 第 7 世代以降のインテル Core i3/i5/i7 プロセッサ Windows 10 64 ビット バージョン以降 (Anniversary Update) インテル Rapid Storage Technology ドライバ バージョン 15.9.1.1018 以降
容量	16 GB

システム基板のコネクタ

表 7. システム基板のコネクタ

特長	仕様
M.2 コネクタ	M.2 2230/2280 キー M コネクタ (1)

メディア カード リーダー

表 8. メディアカードリーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	SD カードスロット (1)
サポートされているカード	<ul style="list-style-type: none"> SD (Secure Digital) 転送カード経由の microSD

オーディオ

表 9. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Waves MaxxAudio Pro 搭載 Realtek ALC3204
ステレオ変換	24 ビット DAC (DA 変換) および ADC (AD 変換)
タイプ	HD Audio (HD オーディオ)
スピーカー	2 台
インタフェース	内部 : <ul style="list-style-type: none"> インテル HDA (ハイ デフィニション オーディオ) 外部 : <ul style="list-style-type: none"> HDMI 経由の 7.1 チャンネル出力

特長	仕様
アンブ内蔵スピーカー	ALC3204 に内蔵 (クラス D 2 W)
外部ボリュームコントロール	メディアコントロールショートカットキー
スピーカー出力 :	平均 : 2 W ピーク : 2.5 W
マイク	デジタルアレイマイク

ビデオカード

表 10. ビデオカードの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル UHD グラフィックス 620	UMA	<ul style="list-style-type: none"> インテル Core i7-8565U CPU インテル Core i5-8265U CPU インテル Core i3-8145U CPU 	内蔵	共有システムメモリ	HDMI 1.4b ポート	1920x1200@60 Hz
Nvidia GeForce MX130 と同等、2 GB	ディスクリート	NA	GDDR5	2 GB	HDMI 1.4b ポート	1920x1200@60 Hz

カメラ

表 11. カメラの仕様

特長	仕様
解像度	静止画 : HD 解像度 (1280x720) ビデオ : HD 解像度 (1280x720) (30 fps において)
対角視野角	74.9 度
センサーのタイプ	CMOS センサーテクノロジー

通信

表 12. 通信の仕様

特長	仕様
ネットワークアダプター	統合 Realtek RTL8111 10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45)

ワイヤレス

表 13. ワイヤレスの仕様

仕様
インテル ワイヤレス 9462 802.11AC 1x1 Wi-Fi + BT V5.0 ワイヤレス カード
インテル ワイヤレス 9560 802.11AC 2x2 Wi-Fi + BT V5.0 ワイヤレス カード
Dell Qualcomm QCA9377 (DW1810)
Dell Qualcomm QCA61x4A (DW1820)

ポートとコネクタ

表 14. ポートとコネクタ

特長	仕様
メモリーカードリーダー	SD カードリーダー (1)
USB	<ul style="list-style-type: none">USB 3.1 Gen 1 (Type-A) ポート (2)USB 2.0 (Type-A) ポート (1)USB 3.1 Gen 1 (USB Type-C) ポート/DisplayPort (1)
セキュリティ	Noble Wedge ロックスロット
オーディオ	ヘッドセット (ヘッドフォンとマイクのコンボ) ポート (1)
ビデオ	HDMI 1.4b ポート (最大 2k をサポート) (1)
ネットワークアダプター	RJ-45、10/100/1000、LED インジケータなし

ディスプレイ

表 15. ディスプレイの仕様

特長	仕様
タイプ	15.6 インチ、1920 x 1080 (フル HD IPS Low Specs Narrow 非光沢)、16:9
高さ (アクティブ エリア)	205.7 mm (8.10 インチ)
幅 (アクティブ エリア)	355.7 mm (13.81 インチ)
対角線	394.9 mm (15.55 インチ)
メガピクセル	2.07
PPI (1 インチあたりの画素数)	141
コントラスト率	400:1
明るさ/輝度 (標準)	220 nits
リフレッシュレート	60 Hz
水平可視角度 (最小)	+/- 80 度
垂直可視角度 (最小)	+/- 80 度
消費電力 (最大)	3.5 W

キーボード

表 16. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none">80 (米国とカナダ)81 (英国)84 (日本)
サイズ	フル サイズ <ul style="list-style-type: none">X = 19.05 mm (0.75 インチ) キー ピッチY = 18.05 mm (0.71 インチ) キー ピッチ
バックライト付きキーボード	オプション
レイアウト	QWERTY

タッチパッド

表 17. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	1229 x 749
寸法	<ul style="list-style-type: none">幅 : 105 mm (4.13 インチ)高さ : 80 mm (3.14 インチ)
マルチタッチ	5 本指対応

オペレーティングシステム

表 18. オペレーティングシステム

特長	仕様
サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">Windows 10 Home (64 ビット)Windows 10 Professional (64 ビット)Ubuntu

バッテリー

表 19. バッテリー

特長	仕様
タイプ	3 セル「スマート」リチウムイオン (42 Whr)
寸法	幅 97.15 mm (3.82 インチ) 奥行き 184.15 mm (7.25 インチ) 高さ 5.90 mm (0.23 インチ)
重量 (最大)	0.2 kg (0.44 ポンド)
電圧	11.40 VDC
寿命	300 サイクル (充電/放電)
コンピュータ非起動時の充電時間 (概算)	Standard Charge (標準充電) 0 ~ 60°C : 4 時間 Express Charge 0 ~ 35°C : 4 時間 16 ~ 45°C : 2 時間 46 ~ 60°C : 3 時間
動作時間	動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。

特長	仕様
温度範囲：動作時	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)
温度範囲：保管時	-20°C ~ 60°C (-40°F ~ 149 °F)
コイン型電池	CR-2032

電源アダプタ

表 20. 電源アダプタの仕様

特長	仕様 (45 W)	仕様 (65 W)
タイプ	45 W	65 W
入力電圧	100 ~ 240 VAC	100 ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	1.3 A	1.7 A
アダプタのサイズ	寸法 インチ : 1.02 x 1.57 x 3.7 mm : 26 x 40 x 94	寸法 インチ : 1.1 x 1.9 x 4.3 mm : 28 x 47 x 108
重量	0.17 kg (0.37 ポンド)	0.29 kg (0.64 ポンド)
入力周波数	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz
出力電流	2.31 A (連続稼働時)	3.34 A (連続稼働時)
定格出力電圧	19.5 VDC	19.5 VDC
温度範囲 (動作時)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
温度範囲 (非動作時)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

寸法と重量

表 21. 寸法と重量

特長	仕様
高さ	前面 : 18.87 mm (0.74 インチ) 背面 : 20.3 mm (0.80 インチ)
幅	361.1 mm (14.21 インチ)
奥行き	249.0 mm (9.80 インチ)
重量	1.9 kg (4.18 ポンド)

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 22. コンピュータ環境

	動作時	保管時
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65 °C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 80% (結露しないこと) ⓘ メモ: 最大露点温度 = 26°C	0 ~ 95 % (結露しないこと) ⓘ メモ: 最大露点温度 = 33°C
振動 (最大)	0.26 GRMS	1.37 GRMS
衝撃 (最大)	105 G †	40 G †
高度 (最大)	-15.2 m ~ 3048 m (-50 フィート ~ 10,000 フィート)	-15.2 m ~ 10,668 m (-50 フィート ~ 35,000 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セキュリティ

表 23. セキュリティ

特長	仕様
Trusted Platform Module (TPM) 2.0	システム基板内蔵
Firmware TPM	オプション
Windows Hello のサポート	はい。電源ボタンのオプションの指紋認証
ケーブルロック	Noble ロック
シャーシントルージョンスイッチ	オプション
Dell スマートカード キーボード	オプション
シャーシのロックスロットとループのサポート	オプション

セキュリティ ソフトウェア

表 24. セキュリティ ソフトウェアの仕様

特長	仕様
Dell Endpoint Security Suite Enterprise	オプション
Dell Data Guardian	オプション
Dell Encryption (エンタープライズまたは個人)	オプション
Dell Threat Defense	オプション
RSA SecurID Access	オプション
RSA NetWitness Endpoint	オプション
MozyPro または MozyEnterprise	オプション
VMware Airwatch/WorkspaceONE	オプション
絶対データおよびデバイス セキュリティ	オプション

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでは、ノートブックハードウェアの管理と BIOS レベル オプションの指定を行うことができます。システムセットアップから実行できる操作は次のとおりです。

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 内蔵デバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピュータのセキュリティを管理する。

トピック：

- BIOS の概要
- 一般オプション
- システム設定
- ビデオ画面オプション
- セキュリティ
- Secure Boot (安全起動)
- インテルソフトウェアガードエクステンションのオプション
- パフォーマンス
- 電力管理
- POST 動作
- Virtualization Support (仮想化サポート)
- ワイヤレスオプション
- メンテナンス
- システムログ
- SupportAssist システムの解決策

BIOS の概要

△ 注意: コンピュータの専門知識がない場合は、BIOS セットアッププログラムでの設定変更は避けてください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

① メモ: BIOS セットアッププログラムを変更する前に、今後の参照用に、BIOS セットアッププログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアッププログラムは、次のような目的で使用します。

- RAM の容量やハードドライブのサイズなど、コンピュータに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザーパスワード、取り付けられたハードドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

一般オプション

表 25. 一般規定

オプション	説明
システム情報	<p>このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• システム情報• メモリ構成• プロセッサ情報• デバイス情報
Battery Information	<p>バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプタの種類を表示します。</p>
Boot Sequence	<p>コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Windows Boot Manager• Boot List Option: ブートリスト オプションを変更することができます。 次のいずれかのオプションをクリックします。<ul style="list-style-type: none">- Legacy External Devices- UEFI - デフォルト
詳細起動オプション	<p>レガシー オプション ROM を有効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable Legacy Option ROMs - デフォルト• Enable Attempt Legacy Boot (レガシー起動試行を有効にする)
UEFI Boot Path Security	<p>UEFI ブートパスを起動する際に、管理者パスワードを入力するようにプロンプトを表示するかを制御することができます。</p> <p>次のいずれかのオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none">• Always, Except Internal HDD - デフォルト• Always (常に)• なし
Date/Time	<p>日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。</p>

システム設定

表 26. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	<p>内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効)• 有効• Enabled w/PXE (デフォルト)
SATA Operation	<p>統合 SATA ハードドライブ コントローラの動作モードを設定することができます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効)• AHCI• RAID On (デフォルト) <p>① メモ: RAID モードをサポートするには SATA を設定します。</p>
Drives	<p>各種オンボードドライブを有効または無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• SATA-0• SATA-2• M.2 PCIe SSD-0 <p>すべてのオプションがデフォルトで設定されています。</p>
SMART Reporting	<p>このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis And Reporting Technology) 仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする)
USB 設定	<p>内部/内蔵 USB の設定を有効または無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする)• Enable External USB Ports (外付け USB ポートを有効にする) <p>すべてのオプションがデフォルトで設定されています。</p> <p>① メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
オーディオ	<p>内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。デフォルトでは Enable Audio (オーディオを有効にする) オプションが選択されています。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable Microphone (マイクを有効にする)

オプション	説明
Keyboard Illumination	<ul style="list-style-type: none">• Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p> <p>このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。キーボードの輝度レベルを、0% ~ 100%の間で設定できます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効)• Dim (暗い)• Bright (デフォルト)
Keyboard Backlight Timeout on AC	<p>AC アダプタがシステムに接続されているときに、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定できます。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効の場合にのみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none">• 5 秒• 10 seconds (デフォルト)• 15 秒• 30 秒• 1 分間• 5 minutes• 15 分間• なし
Keyboard Backlight Timeout on Battery	<p>システムをバッテリー電源のみで実行しているときに、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定できます。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効の場合にのみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none">• 5 秒• 10 seconds (デフォルト)• 15 秒• 30 秒• 1 分間• 5 minutes• 15 分間• なし
Miscellaneous devices	<p>各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable Camera (デフォルト)• Enable Hard Drive Free Fall Protection (デフォルト)• Enable Secure Digital (SD) Card (デフォルト)• Secure Digital (SD) Card Boot (SD カード起動)• Secure Digital Card (SD) Read-Only Mode

ビデオ画面オプション

表 27. ビデオ

オプション	説明
LCD Brightness	電源に応じて、ディスプレイの輝度を設定できます。電源は、バッテリー (50 % がデフォルト) と AC (100 % がデフォルト) です。

セキュリティ

表 28. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	<p>管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、削除することができます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enter the old password:• Enter the new password:• Confirm new password: <p>パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。</p> <p>① メモ: 最初のログイン時に、[Enter the old password:] フィールドは [Not set] と記されています。したがって、最初のログイン時にパスワードを設定する必要があります。その後、パスワードを変更または削除することができます。</p>
System Password	<p>システムパスワードを設定、変更、削除することができます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enter the old password:• Enter the new password:• Confirm new password: <p>パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。</p> <p>① メモ: 最初のログイン時に、[Enter the old password:] フィールドは [Not set] と記されています。したがって、最初のログイン時にパスワードを設定する必要があります。その後、パスワードを変更または削除することができます。</p>
Strong Password	<p>常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable Strong Password <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
Password Configuration	<p>パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。</p>
Password Bypass	<p>これを設定すると、システムの再起動時にシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力をバイパスすることができます。</p> <p>次のいずれかのオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none">• Disabled - デフォルト• Reboot bypass (再起動のスキップ)

オプション	説明
Password Change	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードを変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Allow Non-Admin Password Changes <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
Non-Admin Setup Changes	<p>管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは管理者パスワードによってロックされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Allow Wireless Switch Changes <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
UEFI Capsule Firmware Updates	<p>システム BIOS を UEFI カプセル アップデート パッケージでアップデートすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable UEFI Capsule Firmware Updates <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
TPM 2.0 Security	<p>POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効または無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TPM On - デフォルト • Clear (クリア) • PPI Bypass for Enable Command - デフォルト • PPI Bypass for Disable Command • PPI Bypass for Clear Command • Attestation Enable - デフォルト • Key Storage Enable - デフォルト • SHA-256 - デフォルト
Computrace (R)	<p>オプションの Computrace ソフトウェアをアクティブまたは無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Deactivate (非アクティブ) • Disable (無効) • Activate - デフォルト
OROM keyboard Access	<p>起動中にホットキーで、オプション ROM の設定画面を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable - デフォルト • Disable (無効) • One Time Enable (1 回のみ有効)
Admin Setup Lockout	<p>管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする) <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
Master Password Lockout	<p>マスター パスワードのサポートを無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Master Password Lockout <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p> <p>📌 メモ: この設定を変更する前には、ハード ディスク パスワードをクリアする必要があります。</p>

オプション	説明
SMM Security Mitigation	UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • SMM Security Mitigation このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

Secure Boot (安全起動)

表 29. 安全起動

オプション	説明
Secure Boot Enable	セキュア ブート機能を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • Secure Boot Enable - デフォルト
Secure Boot Mode	セキュア ブートの操作モードを変更するとセキュア ブートの動作が変わり、UEFI ドライバの署名が検証されます。 <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Deployed Mode - デフォルト • Audit Mode
Expert Key Management	エキスパート キー管理を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • カスタムモードを有効にする このオプションは、デフォルトでは設定されていません。 <p>カスタムモードのキー管理オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PK - デフォルト • KEK • db • dbx

インテルソフトウェアガードエクステンションのオプション

表 30. インテルソフトウェアガードエクステンション

オプション	説明
Intel SGX Enable	このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。 <p>次のいずれかのオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) • Enabled (有効) • Software controlled (ソフトウェア制御) - デフォルト
Enclave Memory Size	このオプションで、 SGX Enclave Reserve メモリサイズ を設定します。 <p>次のいずれかのオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 32 MB

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • 64 MB • 128 MB - デフォルト

パフォーマンス

表 31. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	<p>このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • All - デフォルト • 1 • 2 • 3
Intel SpeedStep	<p>プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする) <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
C-States Control	<p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • C States <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
Intel TurboBoost	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする) <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
Hyper-Thread Control	<p>ハイバースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • Enabled - デフォルト

電力管理

表 32. 電源管理

オプション	説明
AC Behavior	<p>AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Wake on AC (ウェイクオン AC)

オプション	説明
Enable Intel Speed Shift Technology	<p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p> <p>[Intel Speed Shift Technology] を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enabled - デフォルト
Auto On Time	<p>コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled - デフォルト • Every Day (毎日) • Weekdays (平日) • Select Days (選択した日) <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
USB Wake Support	<p>USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする) <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
Wake on LAN	<p>このオプションでは、特殊な LAN 信号でトリガすることで、コンピュータの電源をオフ状態からオンにすることができます。スタンバイ状態からのウェークアップは設定の影響を受けないので、オペレーティングシステムで有効にする必要があります。この機能は、コンピュータが AC 電源に接続されている場合にのみ正常に動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (デフォルト) - LAN またはワイヤレス LAN からウェークアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。 • LAN Only (LAN のみ) — 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。
Block Sleep	<p>このオプションでは、ピーク需要時の AC 電源の使用量を最小限にします。</p>
Peak Shift	<p>OS の環境でスリープに入るのをブロックすることができます。</p>
Advanced Battery Charge Configuration	<p>このオプションでは、バッテリー性能を最大限に高めることができます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。</p>
Primary Battery Charge Configuration	<p>バッテリーの充電モードを選択することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Adaptive - デフォルト • Standard - 標準速度でバッテリーをフル充電します。 • Express Charge - デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電することができます。 • Primarily AC use (主に AC を使用) • カスタム <p>Custom Charge(カスタム充電)が選択されている場合は、Custom Charge Start(カスタム充電開始)と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p>メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。このオプションを有効にするには、Advanced Battery Charge Configuration (高度なバッテリー充電設定) オプションを無効にする必要があります。</p>

POST 動作

表 33. POST 動作

オプション	説明
Adapter Warnings	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable Adapter Warnings - デフォルト
Fn Lock Options	<p>ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none">• Fn Lock - デフォルト <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none">• ロックモード無効 / 標準• Lock Mode Enable/Secondary —デフォルト
Fastboot	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none">• Minimal (最小)• Thorough - デフォルト• 自動
Extended BIOS POST Time	<p>ブート遅延を追加で作成できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none">• 0 seconds - デフォルト• 5 秒• 10 秒
Full Screen logo	<p>お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーン ロゴを表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Enable Full Screen Logo (フルスクリーンロゴを有効にする) <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
Warnings and Errors	<p>次のいずれかのオプションを選択できます。警告が検出されても、中止してプロンプトを表示し、ユーザー入力を待機して続行するが、エラーが検出された場合には一時停止するオプション。または POST プロセス中に警告またはエラーのどちらかが検出されても続行するオプション。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none">• Prompt on Warnings and Errors — デフォルト• Continue on Warnings (警告検出でも続行)• Continue on Warnings and Errors (警告およびエラーの検出でも続行)
MAC Address Pass-Through	<p>この機能は、外部の NIC MAC アドレスをシステムから選択された MAC アドレスに置き換えます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none">• Passthrough MAC Address - デフォルト• Integrated NIC 1 MAC Address

- Disabled (無効)

Virtualization Support (仮想化サポート)

表 34. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	<p>このオプションでは、インテルバーチャライゼーションテクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で有効にするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Intel Virtualization Technology (インテルバーチャライゼーションテクノロジーを有効にする) <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
VT for Direct I/O	<p>ダイレクト I/O 向けインテルバーチャライゼーションテクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で有効にするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 向け VT を有効にする) <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>


ワイヤレスオプション

表 35. ワイヤレス

オプション	説明
Wireless Switch	<p>ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WLAN • Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
Wireless Device Enable	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WLAN • Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

メンテナンス

表 36. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	コンピュータのサービスタグを表示します。
Asset Tag	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
BIOS Downgrade	システムファームウェアの前のリビジョンをフラッシュできます。 <ul style="list-style-type: none">• Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する) このオプションは、デフォルトで設定されています。
Data Wipe	すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去できます。 <ul style="list-style-type: none">• Wipe on Next Boot (次回起動時に消去) このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
Bios Recovery	BIOS Recovery from Hard Drive (ハードドライブからの BIOS のリカバリ) - このオプションは、デフォルトで設定されています。HDD または外付け USB キーのリカバリファイルから、破損した BIOS をリカバリできます。 BIOS Auto-Recovery (BIOS の自動リカバリ) - BIOS を自動的にリカバリできます。  メモ: BIOS Recovery from Hard Drive (ハードドライブからの BIOS のリカバリ) フィールドを有効にする必要があります。 Always Perform Integrity Check (常に整合性チェックを実行) - 起動のたびに整合性チェックを実行します。

システムログ

表 37. システムログ

オプション	説明
BIOS events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
Thermal Events	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
Power Events	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

SupportAssist システムの解決策

表 38. SupportAssist システムの解決策

オプション	説明
Auto OS Recovery Threshold	このオプションでは、SupportAssist システム解決策コンソールおよび Dell OS Recovery Tool の自動起動フローを制御します。

オプション

説明

次のオプションのいずれかをクリックします。

- オフ
- 1
- 2 - デフォルト
- 3

SupportAssist OS Recovery このオプションでは、特定のシステム エラーの発生時に、SupportAssist OS Recovery Tool の起動フローを有効または無効にします。

困ったときは

デルへのお問い合わせ

① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 **Dell.com/support** にアクセスします。
- 2 サポートカテゴリを選択します。
- 3 ページの下部にある **国 / 地域の選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
- 4 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。